

科目名	品質・安全マネジメント特論		英文表記	Advanced Lecture on Quality and Safe Management		2017/5/22		
科目コード	6027							
教員名：富澤淳、藤井知、正木忠勝、三枝隆裕、伊藤昌章、眞喜志隆 技術職員名：なし						作成		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全コース			専2	選	学修	2単位	講義	後期
科目目標 【MCC目標】	①工業製品の品質及び安全に関する基本的な考え方を学ぶ。(機A-2、情A-2、メA-1,C-2、生A-2) ②製造における品質及び安全マネジメントの重要性、並びに製造責任や倫理観について理解する。(機A-2,C-2、情A-2,C-2、メA-1,C-2、生A-2,C-1)							
総合評価	製品安全、ものづくり、食品、ソフトウェアの各分野について、品質・安全に関する課題レポートにて理解度を見る。(各25%)							
科目目標達成度とJABEE目標との対応	目標割合	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
	70%	① 各種工業製品の品質管理に関する知識を身につけ、定量的に記述・解析することができる(機A-2、情A-2、メA-1,C-2、生A-2)	正しく理解し、身につけているかレポートで評価する。	理想的な到達レベル(優)	標準的な到達レベル(良)	最低限必要な到達レベル(可)	セルフチェック	
	30%	② 製品安全に関する知識を身につけ、定量的に記述・解析することができる(機A-2,C-2、情A-2,C-2、メA-1,C-2、生A-2,C-1)	正しく理解し、身につけているかレポートで評価する。	授業で学習した内容と関連付けながら、品質・安全管理に関する手法について、それらの要点を説明できる。	教材・参考図書等に従い、品質・安全管理に関する手法について、その要点を多角的に説明できる。	講義資料・参考図書等を参照しながら、品質・安全管理に関する手法について基本的な用語や考え方を説明できる。		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4				
	○			◎				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		0	0	100	0	100		
基礎的理解	①②			50		50		
応用力(実践・専門・融合)	①②			30		30		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	①②			10		10		
主体的・継続的学修意欲	①②			10		10		
授業概要、方針、履修上の注意	各コース分野に関わりの深い工業製品を題材に、各コースの担当教員がオムニバス形式で講義をおこなう。							
教科書・教材	教員自作プリント及びパワーポイント							

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェック
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末	期末試験	[2]			
16	ガイダンス・品質規格の基本【航】	2	ISO9001シリーズの基本的考え方と概要		
17	製品安全規格【航】	2	UL等の製品安全規格とその概要	先週の講義内容・問題復習	
18	ものづくりの現場【航】	2	ものづくりの現場における品質・安全管理①	先週の講義内容・問題復習	
19	半導体・電子デバイス分野	2	半導体や電子デバイスのハードウェア設計を例に企業側の視点①	先週の講義内容・問題復習	
20	食品分野①	2	食品偽装問題を例に、食品の品質や安全に対する企業側の視点①	先週の講義内容・問題復習	
21	食品分野②	2	食品偽装問題を例に、食品の品質や安全に対する企業側の視点②	先週の講義内容・問題復習	
22	ソフトウェア分野①	2	ソフトウェアに関連した、品質・安全管理に対する企業側の視点①	先週の講義内容・問題復習	
23	航空分野①【航】	2	航空分野からの視点①	先週の講義内容・問題復習	
24	航空分野【航】	2	航空分野からの視点②	先週の講義内容・問題復習	
25	技術史(機械分野)	2	機械分野における技術史	先週の講義内容・問題復習	
26	技術史(電子通信分野)	2	電子通信分野における技術史	先週の講義内容・問題復習	
27	技術史(情報分野)	2	情報分野における技術史	先週の講義内容・問題復習	
28	技術史(生物資源分野)	2	生物資源分野における技術史	先週の講義内容・問題復習	
29	総合グループワーク①	2	各産業分野における諸問題のグループワーク①	各産業分野別の内容の整理と復習	
30	総合グループワーク②	2	各産業分野における諸問題のグループワーク②と発表	各産業分野別の内容の整理と復習	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	レポート(その週の講義内容に沿った内容についてレポートを課す。)			各3時間×15回	
②	レポート(演習に関するレポートを課す。)			15時間	
				計60時間	
<b>備考欄</b>					
<p>(共通記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この科目の主たる関連科目:産業創造セミナー(3年)、技術者倫理(5年)</li> <li>その他必要事項は各コースで決める。</li> <li>(モデルコアカリキュラム)</li> <li>対応するモデルコアカリキュラム(MCC)の学習到達目標、学習内容およびその到達目標を【】内の記号・番号で示す。</li> <li>(航空技術者プログラム)</li> <li>【航】は航空技術者プログラムの対応項目であることを意味する。</li> <li>(学位審査基準の要件による分類・適用)</li> <li>工学の基礎となる科目</li> </ul> <p>学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)</p>					